
L a s t s t o r y

麦畑葉月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Last story

【Nコード】

N2554BA

【作者名】

麦畑葉月

【あらすじ】

とある大学へ数人の黒衣の男が、木曜日の3限目に今河悠紀とその親友5人のいる教室にやって来た。その男は悠紀に言うのだった。お前は女である・・・。

悠紀はまったくそのことについて覚えていない。
男たちは思い出させようと、世界中の電波をジャックし、悠紀の昔の悲惨な映像を流したのだった。
そして、悠紀はすべてを思い出し、元の姿に戻った。

それと同時に、凶悪なものを生み出して……。

世界が終末へと進んでゆく……。

止める手立てはあるのだろうか？

これは、青年達の戦いと恋の歴史である。

season 1 ? 始まりの目覚め。

地球って必要か？

この世に存在する必要があるのか？

俺には、必要に感じない。

俺に必要なのは、何も無い。

地球上には、俺の必要なものは存在。

俺は眠り続ける。

俺の大切な人の中で。俺は眠り続ける。

その時が来るまで……。

歌を歌ってみる。

お母さんにとっても上手と褒められた。

それから、15年もの歳月が過ぎた。

15年過ぎた今。

友達とカラオケボックスによく行く。

けれど誰にも歌を褒められることはない。

下手といつものごとく罵られる。

罵られると昔がすごく懐かしくなる。

そう感じるけれど。感じるのは少しだけ。

何故なら、昔の記憶はそれしか無いからだ。

その時の自分の顔もまったく覚えていない。

今の自分には、今まで違和感を感じなかつたけれど。

大学生になつた途端に違和感を感じ始めた。

この物語は、私のそんな時期から始まる。

これは、世界の終末とそれに抵抗するもの達の陰謀と恋と戦いの物

語である。

まずは一丁目。

今河悠紀の物語から始めようと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2554ba/>

Last story

2012年1月6日16時53分発行